

オーチス・エレベータ サービス株式会社	保守点検に関する保守資料 【主リレー、ブレーキリレー】		
Elevators & Escalstors		JES000159	発行日 2017/4/1
		Ver.: 00	Page1

オーチス・エレベータサービス株式会社

本書の記載内容は予告なく変更される場合があります。
 最新版につきましては弊社ホームページ (URL: <http://www.oesc.co.jp/Pages/Home.aspx>) をご確認ください。







Copyright © 2016 Otis Elevator Service Company All rights reserved. このマニュアルに関するすべての著作権および知的所有権は、原則としてオーチス・エレベータサービス株式会社(OESC)に帰属する(注)。OESC 社員または同社正規代理店が、OESC の利益を目的としてのみ使用するものとする。形式や目的を問わず、OESC の許可なくこれを複製・翻訳・複写したり、データ処理 ユニットに保存することは著作権の侵害とみなされ、法的措置の対象となる。

(注) 弊社はこれら技術的情報の全部又は一部を Schindler Holding Ltd. 又はそのグループ会社(「シンドラー」)から提供を受け、その同意の下に開示しています。当該情報の権利はシンドラーに帰属するものであり、弊社はその正確性又は完全性について、一切の責任を負いません。

1. はじめに

この点検基準は、所有者の方より、シンドラーエレベータ製エレベーターの保守・点検について、維持および運行の安全を確保するために、保守点検業者の専門技術者の方へご指示いただきたい事柄を記載した文書です。

保守・点検基準に記載の諸作業の実施については、専門技術者(用語の定義を参照)を対象としているので、必要な安全処置については実施されていることを前提としています。

	警告		強制	本点検基準の総てをお読みいただき、その内容を理解し、且つ使用頻度、利用状況、その他を考慮し、エレベーターを適切な状態に維持してください。
	警告		強制	救出作業は予め十分に訓練し、迅速に対応できるようにしてください。
	警告		禁止	本資料の内容は、所有者、専門技術者以外の方に開示しないでください。 一般の利用者が本資料より知り得た情報をもとに、エレベーターを操作または運転した場合、思わぬ事故が起こるおそれがあります。

エレベーターを保守・点検する専門技術者の方に、必ず本付属資料を熟読いただき、十分理解の上で作業を実施するように依頼してください。

本点検基準は必要な時に、すぐ読めるようにお手元に大切に保管してください。

本点検基準はエレベーターの所有者または管理者が変更になる場合には、適切に引き継ぎを行ってください。

本点検基準の内容について、ご不明な点、ご理解いただけない点がある場合は、オーチス・エレベータサービス(株)にお問合せください。

本点検基準は基本仕様について説明しています。従い実際の製品では一部異なる場合がありますので、予めご承知おきください。

2. 目次

1. はじめに.....	2
2. 目次.....	3
3. リレーの点検.....	4
3.1 接点の消耗(目視).....	4
3.2 接点の凹凸事象(目視).....	4
3.3 接点の位置ずれ(目視).....	5
3.4 接点の突起(目視).....	5
3.5 リレーのうなり音.....	5
3.6 変色.....	5
3.7 端子の締め付け.....	5

3. リレーの点検

主リレー（電動機主回路用）及びブレーキリレー（ブレーキコイル通電用）に使用されている電磁接触器及び継電器の点検

3.1 接点の消耗（目視）

図1は、主リレー主接点の消耗状態を示しており、この状態のように著しい消耗がある場合は、接点を交換する、もしくはリレーを交換してください。

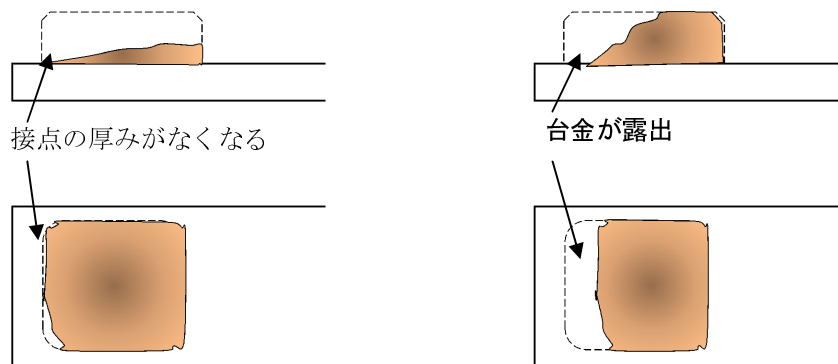


図1 接点消耗状態

3.2 接点の凹凸事象（目視）

接点表面が凹凸ができる異常消耗している場合は、接点を交換する、もしくはリレーを交換してください。
 なお、主リレー主接点は、細目のヤスリで削り、メチルアルコールで洗浄することで回復できる場合があります。
 （紙ヤスリは禁止）

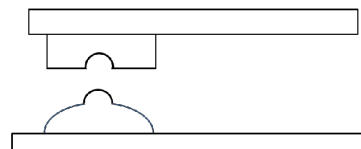


図2 接点凹凸状態

3.3 接点の位置ずれ(目視)

可動接点の位置がずれて固定接点との接触面が片あたりしている場合は、可動接点の位置を修正してください。位置ずれにより接点が異常消耗している場合は、接点もしくはリレーを交換してください。

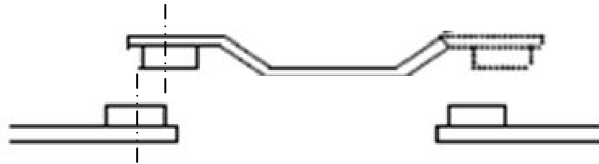
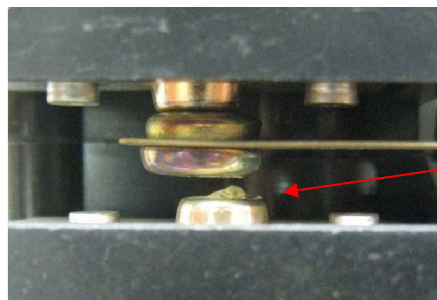


図3 接点位置ずれ

3.4 接点の突起(目視)

接点開閉アークの繰り返しで接点面が溶融し突起ができていている場合は、接点もしくはリレーを交換してください。



接点溶着の危険がある

図4 接点突起状態

3.5 リレーのうなり音

リレー作動時に異常なうなり音がしている場合は、接点もしくはリレーを交換してください。
なお、分解清掃できるリレーについては、鉄心を乾いた布やアルコールで清掃することで修繕できる場合があります。

3.6 変色

リレーケースやリレーコイルに熱による著しい変色がある場合は、リレーを交換してください。
接続端子部に変色はないか

3.7 端子の締め付け

端子ビスに緩みがある場合は、締め付け直してください。